

投資家の皆様へ

INVESTORS' GUIDE 2008-2009



きれいにしよう日本の空を

日本空調サービス株式会社

主な資格取得状況

会社貢献度 (件)			取得難易度 (件)		
1	管工事施工管理技士 1級	114	1	電気主任技術者 第1種	3
2	電気主任技術者 第3種	76	2	建築設備士	7
3	建築物環境衛生管理技術者	105	3	管工事施工管理技士 1級	114
4	ボイラー-技士 1級	93	4	建築施工管理技士 1級	1
5	エネルギー管理士	28	5	電気工事施工管理技士 1級	11
6	冷凍空調和機器施工技能士 1級	28	6	エネルギー管理士	28
7	消防設備士 甲種第4類	50	7	ボイラー-技士 特級	5
8	冷凍機械責任者 第3種	318	8	冷凍機械責任者 第1種	41
9	電気工事士 第2種	298	9	作業環境測定士 第1種	21
10	作業環境測定士 第1種	21	10	放射線取扱主任者 第1種	4

※会社貢献度および取得難易度のランキングは、自社判断によるものです。

資格取得件数 **4,674件** (2008年3月末現在)

景気動向が先行不透明ですが、
当社の事業にはどのような
影響がありますか？

生駒 景気後退懸念が強まる昨今、

設備メンテナンス業界に身を置く当社グループにとって、企業の設備投資動向は大変気になるところです。

しかし、幸いにもバブル崩壊後も当社が受けた影響はそれほどありませんでした。私たちの仕事は**建物がある限り必ず需要**があります。業績

推移からもお分かりいただけるかとおり、中核事業であるメンテナンスサービ

ス業におきましては過去1度も売上が減少することなく、緩やかながら着実に右肩上がりでの成長を続けております。さらに近年は建物自体が**100年設計**時代に入ったこともあり、当社のような設備メンテナンス会社は今後ますます必要性が高まるだろうと思っております。

中期3カ年経営計画を公表
しましたが、中長期的な
事業展開をお教えください。

生駒 このところ特に注力しているのが**生産・製造工場**です。これらの現場では**省エネやCO₂削減**といった

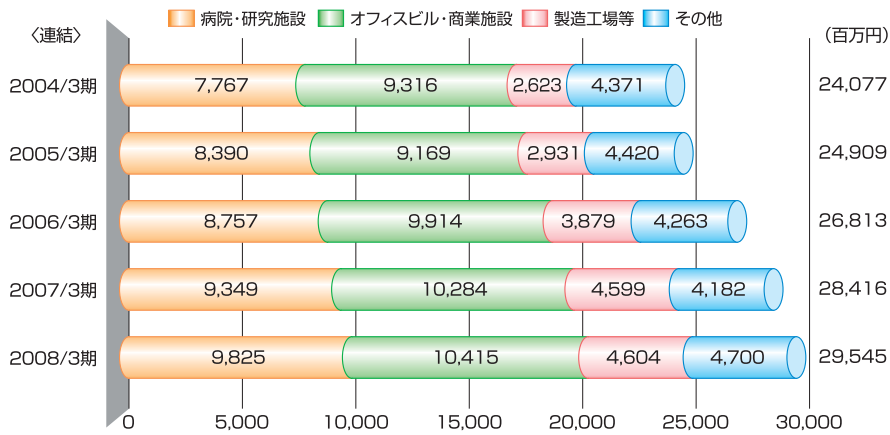
取り組みがますます加速してきています。高度な省エネ提案で他社との差別化を図ることが民間顧客の拡大を目指す上で最大のポイントであり、当社グループの提案力や技術力を生かせるフィールドだと考えています。

現在、当社の売上の大きなウエイトを占めているのが、「大型病院」、「オフィスビル・商業施設」で、その売上はそれぞれ約100億円になります。

一方、「生産・製造工場」の売上は約50億円ほどですが、ここ3〜4年ではほぼ倍増しました。この分野は今後もまだまだ伸ばせると見ており、「大型病院」「オフィスビル・商業施設」に

次ぐ**3本目の柱**となるよう将来的には、「**生産・製造工場**」分野での売上を**100億円規模**に伸ばし、更に磐石の安定基盤を築いてまいりたいと考えております。

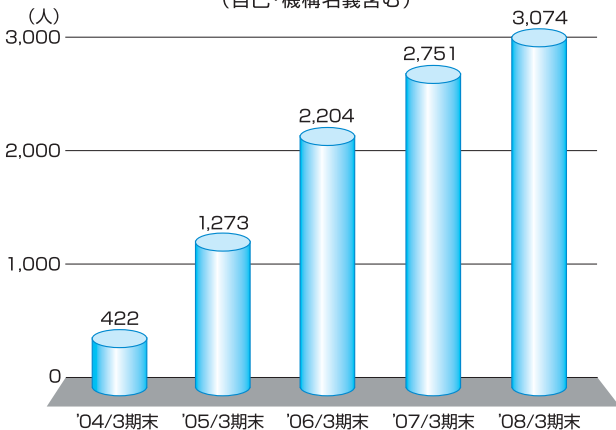
〈受託施設別売上高構成〉



株主還元はどのような
お考えですか？

生駒 引き続き株主の皆様には**配当金で還元**していく考えております。

〈株主数推移〉
(自己・機構名義含む)



またかねてより配当性向30%のベイスを個別業績から連結業績に移行する取り組みを進めてまいりましたが、断続的な増配により前期をもちまして実現することができました。
(’08年3月期・連結配当性向34.4%)
今後におきましては、配当金の原資となる利益の拡大に努めるとともに、**連結配当性向30%**を目的に安定した配当の継続を目指してまいりたいと考えております。

これからも、日本空調グループの「経営理念」、「企業カルチャー」をご理解いただき、ご賛同いただける投資家を求めて、より一層充実したIR活動を行なっていく所存でおります。

メンテナンスサービスを通じて、 建築物に要求される 最適な環境を実現する「環境創生企業」

● TOP INTERVIEW ●

空調設備サービス業界に初めて故障・事故を未然に防ぐという「**予防保全**」の概念を持ち込み、事業化に成功。1964年の会社設立以来、常に業界をリードしてきた日本空調サービスは、着実に成長を続け、昨年ついに**東証・名証一部上場**へ。
——更なる飛躍を目指す同社の生駒社長に話を聞いてみた。



代表取締役社長 生駒 讓三

社長就任の抱負を
お聞かせください。

生駒 私は**技術者**として当社に入社後、長年にわたりさまざまな現場に携わってきました。当社は、1964年4月の設立以来、成長・拡大を続け、会社規模・事業領域の拡充を図ってまいりました。そしてジャスダック、東証・名証二部、更には東証・名証一部上場とステップアップする過程で、管理体制の整備・充実を図るなど経営管理機能も強化してきました。今期より社長のバトンを私が受け継いだところですが、今後は**技術畑出身**という私の持ち味を生かした視点で経営の指揮を執っていきたいと考えております。

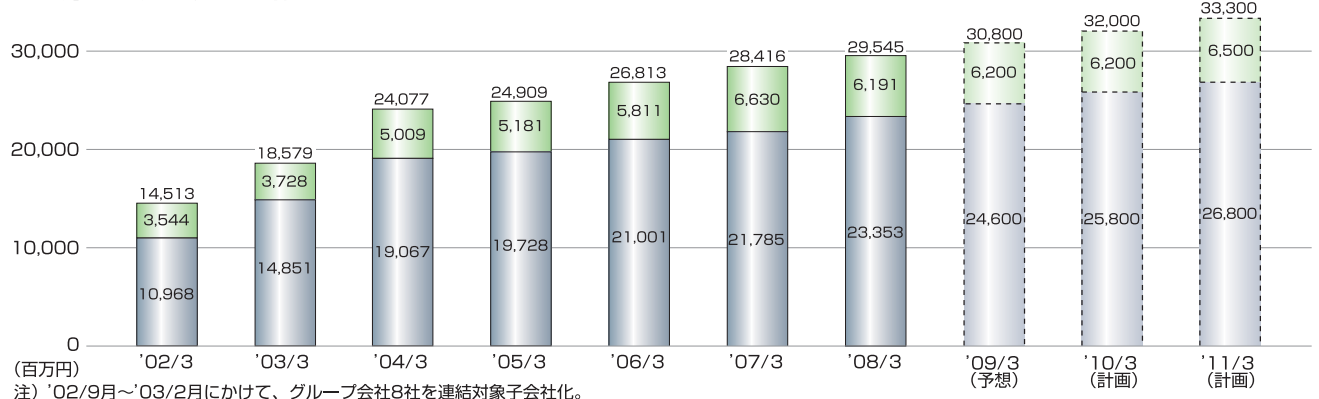
日本空調サービスの特徴と強みは何だとお考えですか？

生駒 ひとつは、**ビジネスモデル**にあります。建物設備のメンテナンス・維持管理、設備・環境診断、ソリューション提案からリニューアル工事まで建物設備のライフサイクルに合わせたトータルサポートを当社1社で全て提供することができます。また、当社グループの最も得意と

する大型病院などのFM（統括管理）事業では、空調はもとより、電気、衛生、給排水など建物に付随する設備のメンテナンスに加え、手術室の無菌化や放射線の漏えい測定といった**特殊な業務**においても、自社対応できることが他社にはない大きな強みだと考えます。



事業分野別連結売上高推移



連結利益・配当金推移



連結経営指標

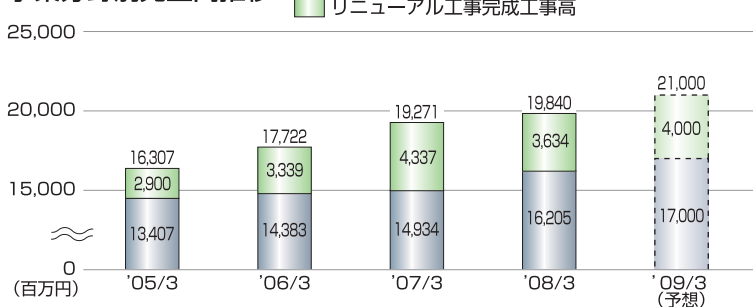
	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3
自己資本利益率(%)	13.4	12.6	11.9	9.7
自己資本比率(%)	38.0	41.2	43.6	46.0
1株当たり当期純利益(円)	94.39	100.81	108.56	93.15
1株当たり純資産額(円)	763.18	880.11	945.58	984.92
株価収益率(倍)	9.0	11.4	10.5	8.1
株価純資産倍率(倍)	1.1	1.3	1.2	0.8
配当性向(%)	19.1	21.8	25.8	34.4
従業員数(名)	1,865	1,913	1,903	2,052

注) 従業員数は、臨時及び嘱託社員含む。

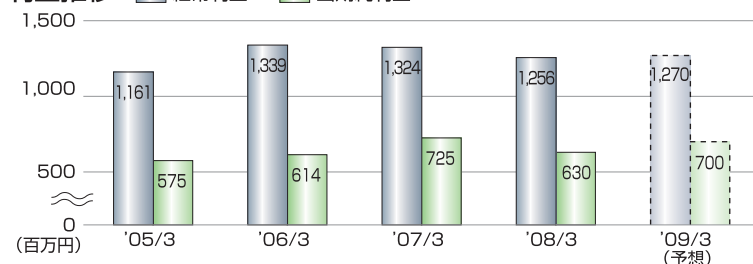
日本空調グループ



事業分野別売上高推移



利益推移



会社概要

社名	日本空調サービス株式会社 NIPPON KUCHO SERVICE CO., LTD.
本社	〒465-0042 名古屋市名東区照が丘239-2
設立	1964年4月28日
資本金	1,139百万円
決算期	3月31日
証券コード	4658
業種分類	サービス業
投資単位	100株
上場証券取引所	東京証券取引所第一部 名古屋証券取引所第一部

※本資料に記載の業績の予想・計画は、2008年10月31日時点における公表数値です。

●お問合せ先

日本空調サービス株式会社 経営企画室 広報チーム

TEL 052-773-2513 FAX 052-771-9790

URL <http://www.nikku.co.jp> E-mail ir@nikku.co.jp